

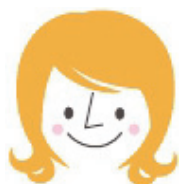
読んでスッカリ♪ いまさら聞けない？
話題のニュースを学べるマガジン

ご参考資料 ピクテ投信投資顧問

Bonjour

ボンジュール!!

2016年
10月7日号
Vol.324



「負けないこと」、それがいちばん大事！？

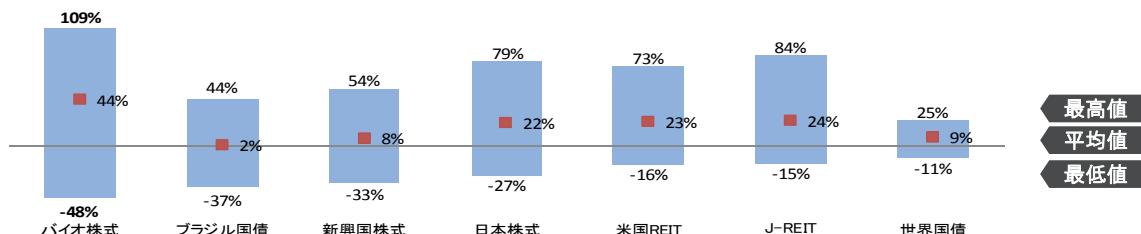
● 今、まさに難しい環境

米国の利上げ動向や英国のEU離脱(ブレグジット)問題など、不透明な状況が続いています。今後どうなるのか？大きな下落局面が来ないのか？今、まさに心配な環境にあります。

● なぜ負けないことが大事？

資産運用において、いかに大きなリターンを獲得するかという「攻め」も大事ですが、いかに減らさないかという「守り」を意識しておくことも大切です。図表1のように、損失率が大きいほど、損失を取り返すのに必要な上昇率が大きくなります。たとえば損失率50%の場合、その後回復するためには、100%上昇しないと取り返すことができません。そのため、急落後の回復に備え、下落率をなるべく10%以内に抑えることが大切です。そこで検討したいのが、低リスク型のバランスファンドをはじめとした「負けない運用」。

■【図表2】各資産を1年間保有した場合の収益率 円換算、日次、期間：2012年2月29日～2016年9月30日



※バイオ株式：ナスダック・バイオ株価指数、ブラジル国債：JP モルガン GBI-EM ブロード・ブラジル指数、新興国株式：MSCI 新興国株価指数、日本株式：TOPIX、米国 REIT：FTSE/NAREIT オール・エクイティ・リート指数、J-REIT：東証リート指数、世界国債：シティ世界国債指数、すべてトータル・リターン 出所：ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成 ※MSCI 指数は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

● 大きく負けない低リスク型ファンド

図表2のように、一年保有した場合の投資収益率でみて、日本株式や米国リートなど単一国・資産は値動きのブレ幅が大きい傾向にあります。世界国債のデータでも最低値は-11%。これらへの投資で下落率を10%以内に収めるのは難しそうです。

資産の「守り」を固めておく意味でも、下落率10%以内を目指した「大きく負けない」低リスク型の運用を検討してみたいはいかがでしょうか。

■【図表1】

損失率と損失を取り返すために必要な上昇率の関係

投資元本 (円)	下落した際の 基準価額 (円)	損失率 (A)	損失を 取り返す ために必要な 上昇率 (B)	損失率を上 回る 上昇率分 (B)-(A)
10,000	9,000	-10.0%	11.1%	1.1%
10,000	8,000	-20.0%	25.0%	5.0%
10,000	7,000	-30.0%	42.9%	12.9%
10,000	6,000	-40.0%	66.7%	26.7%
10,000	5,000	-50.0%	100.0%	50.0%

上記は、リスク資産の価格が1回の変動で値上がりまたは値下がりする場合の説明です。一定の率で徐々に値上がりしていけば値上がり額は次第に大きくなり、一定の率で徐々に値下がりしていけば値下がり額は次第に小さくなります。したがって同じ率で同じ回数だけ値上がりまたは値下がりした価格の起点からの変化率は、値上がり場合は大きくなり、値下がり場合は小さくなります。このような理由から、もっと小さな率で刻々と変化していく実際のリスク資産の価格変動では、100%の価格上昇が50%の価格下落よりもその差の50%分だけ実現が困難(確率が低い)というわけではありません。

※上記はあくまでもイメージ図です。